

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. MALDI TOF/MS 分科会 (2/7 13:30~15:30 於 ILSI 事務局) 活動案の策定 2. 微生物試験のグローバル動向に関する情報発信 WG (2/7 13:30~15:30 於 ILSI 事務局) 活動案の策定 3. 部会全体会議 (2/7 15:00~16:45 於 ILSI 事務局) <ul style="list-style-type: none"> ・ MALDI TOF/MS 分科会の報告、次回活動内容の協議、決定 ・ 微生物試験のグローバル動向に関する情報発信 WG の報告、次回活動内容の協議、決定 4. 勉強会 (2/7 16:45~17:15 於 ILSI 事務局) <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>E. sakazakii</i> レポート (FAO/WHO2006) の雑誌会 5. 研究部会討論会 (ILSI Japan 主催 2/19 13:45-16:30 於あすか会議室) <ul style="list-style-type: none"> ・ 5名参加。食品微生物研究部会の紹介及び研究部会のあり方について討議 ・ 次回部会全体会議 5/24 15:00~17:00 於 ILSI 事務局
<p>3, 4 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. MALDI TOF/MS 分科会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/13 13:00~14:30 於東京海洋大学 東京海洋大学高橋先生へ講演を依頼 ・ 4/11 13:00~15:00 於横浜 BRUKER BRUKER 社へ微生物同定以外の使用方法についてヒアリング ・ 4/16 11:00~12:00 於横浜 BRUKER BRUKER ドイツ本社の Sales Director にデータベースの拡充を要望 ・ 4/25 13:00~15:00 於花王本社 島津/ビオメリユーへデータベースの拡充を要望及び講演依頼 ・ MALDI TOF/MS へのデータ登録を希望する、食品業界にとって重要性の高い菌種リスト作成 2. 次回部会全体会議 5/24 15:00~17:00 於 ILSI 会議室
<p>5, 6 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部会全体会議 5/24 15:00~17:30 於 ILSI 会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ MALDI TOF/MS 今後の取り組みについて ・ 新規分科会設立の提案 ・ データ解析手法の勉強会について ・ グローバル規格動向に関する勉強会の進め方について 2. MALDI-TOF/MS 分科会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/1 於発明会館 菌株データベース化について Bruker 社と打ち合わせ ・ 6/12 於缶詰協会および千葉大学 データベース化する菌株の提供可否について打ち合わせ 3. 芽胞菌分科会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/25 於 ILSI 会議室 定義書の確認。 <p>次回部会全体会議および MALDI TOF/MS 勉強会 8/26 10:00~17:30 於サントリー カトラリーハウス</p>
<p>7, 8 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部会全体会議

	<p>8/26 14:00～15:30 於サントリー カトラリーハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MALDI TOF/MS 分科会報告 ・ 芽胞菌分科会報告 ・ グローバル規格動向に関する勉強会進捗確認 ・ 今後の活動計画について <p>2. MALDI TOF/MS 勉強会</p> <p>8/26 10:00～17:30 (14:00～15:30 は除く)</p> <p>於サントリー カトラリーハウス、25 名参加</p> <p>講師 Bruker 社、島津・ビオメリュー社 東京海洋大学 高橋肇助教授</p> <p>3. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>7/22 於 Bruker 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菌株のデータベース化について打ち合わせ <p>4. 芽胞菌分科会</p> <p>7/24 於 ILSI 会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Alicyclobacillus</i> 属菌検査法の共有化 <p>次回部会全体会議および CCFH44 「7 examples」 勉強会</p> <p>10/11 10:00～16:00 於 (株) 明治</p> <p>10/12 9:00～10:00 於 箱根富士屋ホテル</p>
9, 10 月	<p>1. 部会全体会議</p> <p>(1)10/11 10:30～11:30 於 (株) 明治</p> <p>食品微生物研究部会の運営体制変更について</p> <p>MALDI TOF/MS 分科会報告</p> <p>芽胞菌分科会報告</p> <p>科学諮問委員会設置について</p> <p>(2)10/12 9:30～10:00 於 (株) 湯元富士屋ホテル</p> <p>次期活動案について</p> <p>2. 勉強会：予測微生物学</p> <p>10/11 12:30～14:00 於 (株) 明治 23 名参加</p> <p>講師 北海道大学教授 小関先生</p> <p>3. 勉強会 CCFH44 「7 examples」</p> <p>10/11 14:00～16:00 於 (株) 明治 23 名参加</p> <p>4. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>日本缶詰協会と菌株の受け渡し方法等について随時打ち合わせ</p> <p>5. 芽胞菌分科会</p> <p>(1)9/5 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌の情報共有</p> <p>(2)10/7 於 ILSI 会議室 今後の方針設定</p> <p>6. 次回部会全体会議</p> <p>1/17 於 (株) 花王 すみだ事業場</p>
11, 12 月	<p>1. 芽胞菌分科会</p> <p>(1) 11/18 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌の情報共有</p> <p>(2) 12/11 於 ILSI 会議室 今後の方針設定</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>日本缶詰協会と菌株の受け渡し方法等について随時打ち合わせ</p> <p>3. チルド流通食品分科会設立準備委員会</p> <p>11/29 於 ILSI 会議室</p> <p>4. 次回部会全体会議</p> <p>1/17 於 (株) 花王 すみだ事業場</p>

食品安全研究会

【食品リスク研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>1. 運営会議(1/24, 13:00~14:30, 於 ILSI 事務局) ・各活動の進捗報告、今後の活動計画について議論 2. 勉強会(1/24, 15:00~17:00, 於 ILSI 事務局) 演題:構造活性相関を用いた毒性評価手法 講師:国立医薬品食品衛生研究所 小野敦先生 3. WG 活動: 食品の安全性試験を考える会(1/24, 10:00~12:00, 於 ILSI 事務局) 4. フラッシュレポート作成 「構造活性相関を用いた毒性評価手法」講演について 5. 書籍「毒性学教育講座(下巻)」原稿作成 <今後の予定: TTC 情報収集グループ打ち合わせ(4/1, 於カルピス株)、運営会議および食品の安全性試験を考える会(4/4, 於 ILSI 事務局)></p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 運営会議(4/4, 13:00~16:15, 於 長谷川香料(株)研修センター) ・各活動の進捗報告、今後の活動計画について議論 2. WG 活動 TTC 情報収集打ち合わせ(4/1, 15:00~, 於カルピス株) 3. WG 活動 食品の安全性試験を考える会(4/4, 10:00~12:00, 於長谷川香料(株)研修センター) 4. 書籍「毒性学教育講座(下巻)」原稿作成 <今後の予定:勉強会「食品中化学物質のリスク評価」(講師は国立衛研・畝山智香子先生)、運営会議、食品の安全性試験を考える会(いずれも 6/27, 於 ILSI 事務局)></p>
<p>5, 6 月</p>	<p>1. 運営会議(6/27, 13:00~15:00, 於 ILSI 事務局) ・各活動の進捗報告、今後の活動計画について議論 2. 勉強会「食品中科学物質のリスク分析について」 講師:国立医薬品食品衛生研究所 畝山智香子先生 参加者 27 名(6/27, 15:00~17:00, 於 ILSI 事務局) 3. WG 活動 食品の安全性試験を考える会(6/27, 10:00~12:00, 於 ILSI 事務局) 4. 書籍「毒性学教育講座(下巻)」原稿作成 <今後の予定:運営会議、食品の安全性試験を考える会(8 月, 於 ILSI 事務局)></p>
<p>7, 8 月</p>	<p>1. 運営会議 (8/26, 13:00~15:00, 於 ILSI 事務局) ・各活動の進捗報告、今後の活動計画について議論 2. 勉強会「HESS (有害性評価支援システム) について」 講師:花王株式会社 大内淳子氏 (8/26, 15:00~17:00, 於 ILSI 事務局) 3. WG 活動 食品の安全性試験を考える会 (8/26, 10:00~12:00, 於 ILSI 事務局) 4. 書籍「毒性学教育講座(下巻)」原稿作成 <今後の予定:食品の安全性試験を考える会、Tox21 勉強会(10 月,ILSI 事務局)></p>
<p>9, 10 月</p>	<p>1. WG 活動 食品の安全性試験を考える会 (10/30, 10:00~12:00, 於 ILSI 事務局) 2. 書籍「毒性学教育講座(下巻)」原稿作成 <今後の予定:部会 12 月開催予定></p>
<p>11, 12 月</p>	<p>1. 運営会議 (12/16, 15:00~17:00, 於 ILSI 事務局) 各活動の進捗報告、来年度活動計画について議論。 新規 WG の提案があり、今後進め方等を検討する。 2. WG 活動 食品の安全性試験を考える会 (12/16, 13:00~15:00, 於 ILSI 事務局) <今後の予定:食品の安全性試験を考える会および新規 WG の会合を 2 月頃に開催。 部会運営会議は 7 月頃を予定。></p>

食品安全研究会

【食品アレルギー研究部会】

1, 2 月	部会会議 (2/21 14:00~17:00 於 ILSI 事務局) ・各社の食品アレルギーへの取組み紹介 (プリマハム) ・食品アレルギーに関する海外情報を紹介 (森永乳業、日清製粉グループ本社) ・今後の取組みの提案と討議
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

【植物研究部会】

1, 2 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
3, 4 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
5, 6 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
7, 8 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
9, 10 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
11, 12 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複

*** 環境リスク評価分科会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 8 号 (FEB 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 2/18 <p>5 月国際シンポ・ワークショップについて CERA との了解をふまえ検討</p>
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 9 号 (APR 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 4/3 <p>5 月国際シンポ・ワークショップについて CERA との了解をふまえ詳細設計。募集開始。</p>
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 10 号 (JUN 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 5/20 ・ 国際シンポ・ワークショップ開催 (5/24・25) <p>シンポジウムは 96 名で内外の環境安全性の実際について討論した。また、ワークショップはそれをふまえて専門家による解析を行った。</p>
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 11 号 (AUG 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 7/1,8/19
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 12 号 (OCT 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 9/27
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 13 号 (DEC 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 11/11

*** アレルギータンパク質の分析方法分科会**

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*** 組換え体検知法分科会**

1, 2 月	特になし
--------	------

3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	検知法関連の動きの解説

バイオテクノロジー研究会

◆バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<p>1. 第 1 回部会開催 (2/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度活動の決算と本年度予定 ・ ERA 調査報告書第 9 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 本部総会出席 CERA と 5 月の国際シンポの打ち合わせ</p>
3, 4 月	<p>1. 第 2 回部会開催 (4/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度予定 ・ ERA 調査報告書第 10 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 5 月の国際シンポ</p>
5, 6 月	<p>1. 第 3 回部会開催 (6/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンポジウム報告 ・ ERA 調査報告書第 11 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 本部長に部会の活動について報告</p>
7, 8 月	<p>勉強会開催 (8/26)</p> <p>“The International Workshop on Comparative Approaches to Safety Assessment of GM Plant ” (SENASA 主催、ILSI IFBiC および ILSI アルゼンチン共催) に関する勉強会</p>
9, 10 月	<p>1. 部会開催 (9/19)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>2. ワークショップ開催 (10/15)</p> <p>「植物の新育種技術に関するワークショップ：規制面からの考察および検討」(Station Conference Tokyo)</p> <p>Dr. Maria Lusser(EC), Dr.Gary Rudgers(Dow Agro.), Prof. Nobuyuki Yoshikawa (Iwate U), Prof. Andrew Bartholomaeus(U. Canberra), Prof. Masashi Tachikawa (Ibaraki U.)</p>
11, 12 月	<p>1. 部会開催 (11/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ERA 調査報告勉強会 <p>2. 本部要請によるオタワシンポジウムへの参加学者の推薦</p>

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

1, 2 月	2つのワーキンググループの勉強会開催に向けた取り組み。
3, 4 月	メタボと認知機能障害の勉強会開催へ向けた講師交渉。第1回勉強会を5月10日開催予定。
5, 6 月	<p>1. 部会全体活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養研究部会開催（6月11日）。 ・ ILSI 新会長の Hjelle 氏との懇談会参加および部会活動紹介（6月20日）。 <p>2. WG活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メタボと認知機能障害 WG 勉強会、5月10日、講師；筑波大学 朝田隆教授：「認知症と食」、参加者20名。 ・ 肥満と時間栄養学 WG 勉強会、6月11日、講師；筑波大学 柴田重信教授：「時間栄養学視点による新規食素材開発の可能性」、参加者27名。
7, 8 月	2WG 合同のライフサイエンスシンポジウム企画委員会開催（8月6日、17時～18時、於会議室）。出席者8名。主題やコンセプトについて議論した。
9, 10 月	<p>1. フラッシュレポート：筑波大学朝田隆教授によるメタボと認知機能障害 WG 勉強会「認知症と食」のフラッシュレポート寄稿。</p> <p>2. 2WG 合同のライフサイエンスシンポジウム企画の検討継続。Health-Conscious をテーマの柱に据えたプログラムのたたき台を議論（10月21日）。11月13日に第2回企画会議を開催予定。</p>
11, 12 月	<p>1. 第2回ライフサイエンスシンポジウム企画委員会開催（11月13日、8名）。ライフサイエンスシンポジウムプログラム案を作成。部会（12月12日）にて案を再調整後、演者候補への講演依頼作業開始、継続中。</p> <p>2. 栄養研究部会（12月12日、13名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 活動報告。2014 活動計画案紹介、承認。 ・ 第7回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会①報告 ・ 第2回ライフサイエンスシンポジウム案の再調整。スケジュール調整。演者候補担当の調整。 <p>3. フラッシュレポート：早稲田大学柴田重信教授による時間栄養学 WG 勉強会「時間栄養学の視点による新規食素材開発の可能性」の概要を ILSI 誌フラッシュレポートとして寄稿。</p>

栄養健康研究会

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	<p>1月25日、茶情報分科会を実施。</p> <p>(1)新たな分科会のテーマとして、茶類の有効性・安全性情報の発信について検討を行うこととした。</p> <p>(2)ICOS2013 ILSIセッションの演題（候補）について討議した。</p>
3,4 月	<p>3月8日、茶情報分科会を実施。</p> <p>(1)茶成分データベース拡充の進め方（試料入手手段、成分分析法、機関）の討議。</p> <p>(2)茶類の有効性・安全性情報発信検討の進捗報告。</p> <p>(3)ICOS2013 ILSIセッションの演題（候補）に関する討議。</p>
5,6 月	<p>5月10日、茶情報分科会を実施。</p> <p>1.茶成分データベース拡充（茶葉収集準備状況、成分分析体制）について確認を行うこととした。</p> <p>2.ICOS2013 ILSIセッションの講演候補者について確認、事務局と調整を行うこととした。</p> <p>3.茶類の有効性・安全性情報発信検討の進捗確認を行った。</p>
7,8 月	<p>7月12日、茶情報分科会を実施。</p> <p>1.第5回 ICOS2013 事務局大石氏よりプログラムの紹介。</p> <p>2.ICOS2013、ILSIセッションの内容および準備状況の確認。</p> <p>3.ILSI茶成分データベース、分析コラボの可能性、試料収集に関する議論。</p> <p>4.茶の有効性、安全性に関する情報発信の進め方として分科会内特別プロジェクトの提案。</p>
9,10 月	<p>1.9月6日、第26回茶類研究部会茶情報分科会実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICOS2013ILSIセッション演題の確認 ・ 茶情報データベースの試料収集計画の進捗報告 ・ 茶情報分科会内特別プロジェクト発足のお知らせ ・ 第1回特別プロジェクト会議実施（内容、スケジュール確認） <p>2.10月18日、第27回茶類研究部会茶情報分科会実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICOS2013 準備状況確認 ・ 茶情報データベース試料収集計画の進捗報告
11,12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月7日、第5回国際 O-CHA 学術会議（ICOS2013）において ILSI セッションを開催した。

ILSI Japan 活動報告<2013>

食品機能性研究会

◆食品機能性研究部会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	4 月 25 日分科会長会議 活動の再出発に向けた意見交換をおこなった。
5, 6 月	特に活動なし 7 月 4 日（木）に 3 分科会合同会議予定。
7, 8 月	・ 7 月 4 日（木）に 3 分科会合同会議開催。今後の活動方針について議論した。 ・ 次回会議予定：9 月 26 日（木）15：00～17：00 に 3 分科会長会議
9, 10 月	9 月 26 日（木）15:00 – 17:00：3 分科会々長会議 1) ILSI Europe モノグラフ翻訳 ・ 上野川先生から提案のあった ILSI Europe モノグラフ “Probiotics, Prebiotics and the Gut Microbiota” の翻訳出版について、機能性研究部会で検討した。 ・ 当研究部会のメンバーを中心に、他の ILSI 会員を含めて翻訳者を 3～5 名程度募り、翻訳編集は年内終了を目標とする。 ⇒ 応募者から 6 名に絞り翻訳作業分担を決定した。11 月より翻訳作業を開始する。上野川副理事長が監修を担当し、日本語翻訳を 12 月末に終了、3 月出版予定。 2) 今後の進め方 現行の 3 分科会はリセットし、新たにテーマを選定して再スタートする。
11, 12 月	特になし

* 脳機能分科会

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

* 免疫能分科会

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

* ロコモ分科会

1, 2 月	特になし
--------	------

3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

食品機能性研究会

◆寄付講座「機能性食品ゲノミクス」

1, 2 月	寄附講座第Ⅲ期(12 月開始)に向け、新たなテーマを提案し、参画企業の募集を行なう為、支部総会 (2/19) の午後に説明会を実施した。
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none">・ 2008 年 12 月に開始した第Ⅱ期東京大学 ILSI Japan 寄附講座は、2013 年 11 月に終了予定。・ 第Ⅲ期寄附講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 参加募集中。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・ 2008 年 12 月に開始した第Ⅱ期東京大学 ILSI Japan 寄附講座は、2013 年 11 月に終了予定。・ 第Ⅲ期寄附講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 参加企業決定。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">・ 2008 年 12 月に開始した第Ⅱ期東京大学 ILSI Japan 寄附講座は、2013 年 11 月に終了。・ 第Ⅲ期寄附講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 参加企業決定。

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

<p>1, 2 月</p>	<p>◇テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/8, 16, 17, 18, 24 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 5 会場)</p> <p>1/21 世田谷区主催介護予防教室 (講師: 木村美佳、世田谷区上祖師谷グループホームかたらい)</p> <p>1/28-29 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、小滝地区集会所)</p> <p>1/30 「すみだテイクテン」の効果を検証した論文が電子ジャーナル BMC Geriatrics 掲載されました。</p> <p>Title: Community-based intervention to improve dietary habits and promote physical activity among older adults: a cluster randomized trial</p> <p>Authors: Kimura Mika, Moriyasu Ai, Kumagai Shu, Furuna Taketo, Akita Shigeko, Kimura Shuichi, Suzuki Takao</p> <p>2/ 6-7 大府市保健センター主催 大府介護予防事業『健康長寿塾』 (講師: 木村美佳、愛知県大府市)</p> <p>2/15 墨田区特定高齢者事業「口腔機能向上プログラム」 講義 「食べて生き生き術」 (講師: 木村美佳、墨田区役所)</p> <p>2/12, 15, 19, 20, 21, 28 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>2/25-26 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、小滝地区集会所)</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>◇テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>3/5 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (すみだ女性センター)</p> <p>4/1, 2 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>4/1 墨田区「すみだテイクテン」事業委託契約締結 (平成 25 年度)</p> <p>4/23 平成 24 年度「すみだテイクテン」報告書提出 (墨田区役所)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/14, 15, 16, 17, 21, 23 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>6/3 世田谷区主催介護予防教室 (講師: 木村美佳、世田谷区上祖師谷グループホームかたらい)</p> <p>6/11, 18, 19, 20, 21, 27 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>6/ 24-25 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>7/9, 16, 17, 18, 19, 25 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区 6 会場)</p> <p>7/22 墨田区広報誌「すみだ」で、25 年度「すみだテイクテン」初心者教室の募集開始</p> <p>7/29-31 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上地区女川集会所、石巻市仮設南境第 4 団地集会所)</p> <p>8/21-22 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区女川集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>8/29 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会 「健康長寿のための食の手立て～シニアは“新型栄養失調”?～」 (講師: 人間総合科学大学 熊谷修教授、墨田区役所リバーサイドホール)</p> <p>8/ 30 テイクテンサポーター講習会 (講師: 木村美佳、ILSI Japan 会議室)</p>

9, 10 月	<p>◇テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/11, 12, 20, 24, 26 「すみだテイクテン 第9期講習会 (初心者向)」 (墨田区4会場)</p> <p>9/5, 10, 17, 18, 19, 27 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>9/9 テイクテンサポーター講習会 (講師: 木村美佳、ILSI Japan 会議室)</p> <p>9/17-18 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市北上地区女川集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、石巻市仮設南境第4団地集会所)</p> <p>9/28 住友生命健康財団コミュニティスポーツ推進助成プログラム助成金贈呈式</p> <p>10/2, 4, 8, 9, 10, 18, 22, 23, 24 「すみだテイクテン 第9期講習会 (初心者向)」 (墨田区4会場)</p> <p>10/1, 3, 15, 16, 17, 25 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>10/24 第72回日本公衆衛生学会総会 ポスター発表 「複合型介護予防事業「すみだテイクテン」の世帯形態及び対象者別効果の検証」(三重県総合文化センター・津市)</p>
11, 12 月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>11/1, 5, 6, 7, 15, 26 「すみだテイクテン 第9期講習会 (初心者向)」 (墨田区4会場)</p> <p>11/12, 19, 20, 21, 22, 28 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>11/5 震災被災地支援: 石巻専修大学共創センター主催 元気はつらつ! 健康習慣セミナー 講話 (講師: 木村美佳、稲井公民館・石巻市)</p> <p>11/9 第8回日本応用老年学会大会(札幌医科大学・札幌市) 一般演題口述発表「複合型介護予防事業『すみだテイクテン』の効果 ―世帯形態による違いについて」</p> <p>11/11-12 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市仮設南境第5団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>11/18 墨田区介護予防サポーター養成講座 講義「栄養改善」 (講師: 木村美佳、墨田区役所)</p> <p>11/19 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」 (講師: 木村美佳、篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>12/2-3 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市仮設南境第2団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>12/10, 12, 17, 18, 19, 20 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p>

CHP

【Project SWAN(Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	SWAN プロジェクト実施のためのガイドライン・マニュアル策定 2/22: SWAN プロジェクト展開にかかる新プロジェクトサイトの視察
3, 4 月	3/11 SWAN ベトナム：プロジェクト完了ワークショップ開催（ハノイ） 3/ 26 SWAN ベトナム：JICA へ事業完了報告（東京）
5, 6 月	JICA 地球ひろばのホームページに「草の根技術協力事業「キレイな水で人々の健康を守る！」」掲載
7, 8 月	8 月 SWAN に関する論文が PLOS ONE より出版された（オープンアクセス August 2013 Volume 8, Issue 8, e70654）
9, 10 月	9 月 ナムディン省 SWAN3 啓発活動用に 4 種のフリップチャートを 40 部増刷（Vietnam） 10 月 WHO/UNICEF/USAID 統括の「水・衛生と栄養 共同ドナー文書」に好事例として、SWAN1,2 について掲載決定
11, 12 月	11-12 月 ナムディン省の 2 地区 10 か所の村にて、地域ヘルスワーカーを対象とした啓発活動トレーニングを実施

CHP

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	1/29 カンボジアの鉄強化魚醬・醬油に関するナショナルワークショップ開催（講師：甲子園大学・中西由季子先生、プノンペン）
3, 4 月	4/26 フィリピンの鉄強化米普及による母子の栄養改善協力準備調査提案書を JICA（BOP ビジネス連携促進）に提出
5, 6 月	6/11 インドにおいて、鉄・リジン強化米のパイロット研究を St. John's Research Institute と共同で行うという Agreement を ILSI India との間で締結
7, 8 月	7/1 鉄・亜鉛の強化米のマーケットトライアル（2013～2014 年実施）の共同研究契約をベトナム国立栄養研究所と締結
9, 10 月	9/15-20 IUNS 20th International Congress of Nutrition (Granada, Spain) において、各国の Project IDEA の総括を発表（①中国：鉄強化醬油 by Dr. Junshi Chen, ILSI Focal Point in China, ②ベトナム：鉄強化魚醬 by Prof. Le Thi Hop, National Institute of Nutrition, ③カンボジア：鉄強化魚醬・醬油 by Ms. Theary Chan, Reproductive and Child Health Alliance (RACHA), ④フィリピン：鉄強化米 by Dr. Mario V. Capanzana, Food and Nutrition Research Institute (FNRI), chaired by T. Togami）。 10/25 JICA 協力準備調査（BOP ビジネス連携促進）に対し、フィリピンの鉄強化米普及プロジェクト提案書提出。
11, 12 月	12 月 ニューズレター（日本語版）発行（No.18）

ILSI Japan 活動報告<2013>

CHP

◆CHP 全体

1, 2 月	
3, 4 月	4/4 平成 24 年度活動報告会 (ILSI Japan プロジェクト基金)
5, 6 月	6 月 ニュースレター (日本語版、英語版) 発行 (No.17)
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	12 月 ニュースレター (日本語版) 発行 (No.18)

国際協力委員会

<p>1, 2 月</p>	<p>1. 平成 24 年第 1 回委員会 (1/17) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアプロジェクト インド地域調査及びデータベース化の進捗状況確認 ・ 国際会議 (2/22) の準備状況 <p>2. 第 2 回委員会 (2/6) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアプロジェクト インド地域調査及びデータベース化の進捗状況確認 ・ 国際会議 (2/22) の準備状況 ・ 平成 25 年度以降の農林水産省事業のテーマについて <p>3. 国際会議 (インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究 : 2/22 10:00-17:00、海運クラブ、参加者 80 名) 開催</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 平成 25 年第 3 回委員会 (3/7) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアプロジェクト インド地域調査及びこれまでの調査結果のデータベース化の進捗状況確認 <p>2. 第 4 回委員会 (4/18) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアプロジェクト 第 IV 期報告書配布 ・ これまでの調査結果のデータベース化の進捗状況確認 (5-6 月予定) ・ 平成 25 年度以降の農林水産省事業 (第 V 期) のテーマについて検討 ・ Codex 会議の報告 : 第 45 回 CCFA (3/17-22 北京)、第 7 回 CCCF (4/8-12 モスクワ) ・ International Cooperation Platform(ICP)のアイデア説明 (ILSI SEAR との協力についての新たな取り組み)
<p>5, 6 月</p>	<p>1. 平成 25 年第 5 回委員会 (6/28) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度より、新たに 5 名が新規参加。 ・ 平成 25 年度農林水産省「食品産業グローバル革新支援事業」(第 V 期)への応募(5/22)の進捗状況 ・ 調査国としてカンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾、調査項目として機能性食品の追加を提案。 ・ 7 月中旬応募結果発表、8 月中旬事業開始予定。 ・ これまでの調査結果 (第 I~IV 期) のデータベースの紹介、USB メモリー配布。ILSI Japan のホームページに公開。 ・ Codex 会議の報告 : 第 41 回食品表示部会 (CCFL 5/14~17 シャーロットタウン、カナダ) <p>2. 次回会議予定 : 7 月 25 日 (木) 15 : 00 - 17 : 00</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>1. 平成 25 年第 6 回委員会開催 (7/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BeSeTo 会議 (9/10-11 北京で開催予定) およびシンポ。日本からの発表題材について討議。(栄養表示、機能表示、残留農薬、BSE 検査の現状、アルミ規制、ゴマ、カシューナッツのアレルギー表示、農水省プロジェクト、ILSI 台湾創立について、など) ・ 平成 25 年度農林水産省「食品産業グローバル革新支援事業」(第 V 期)への応募(5/22)の進捗状況 (調査国としてカンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾、調査項目として機能性食品の追加を提案) <p>2. 平成 25 年第 7 回委員会開催 (8/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BeSeTo 会議およびシンポ。日本からの発表内容の確認。(栄養表示、ウーロン茶の残留農薬、アルミ規制、アレルギー表示、過酢酸製剤に対する厚労省の対応、食品添加物の動向、JAS 法の改正、農水省プロジェクトについて、など) ・ 農水省プロジェクト進捗状況。補助金交付内定。(9/2 付承認) <p>次回会議予定 : 9 月 25 日 (水) 15 : 00 - 17 : 00</p>

9, 10 月	<p>平成 25 年第 8 回委員会開催 (9/25)</p> <p>1) BeSeTo 会議&ワークショップ報告 (9/10-11、北京)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中韓の他、東南アジア (マレーシア)、台湾支部からも参加。また、消費者庁食品表示企画課、中国国家食品安全リスク評価センター、KFDA (韓国) など各国行政機関からオブザーバー参加があった。 ・ ①栄養表示規制・規格、②食品管理制度の変更状況、③各国の食品安全のトピック、④リスク評価、⑤各国法規、ガイドライン関連、⑥農水省プロジェクトについて各国からの発表及び質疑が行われた。 ・ BeSeTo 会議に先立ち 9/10 午前に、日中韓及びマレーシアの行政機関による「栄養表示規制要求ワークショップ」が開かれ、①韓国 (栄養政策と栄養表示) ②日本 (栄養表示法規) (消費者庁塩澤信良調整官) ③中国 (国家栄養表示基準) ④東南アジア (栄養表示法規) (マレーシア Dr. E-Siong Tee) について講演、質疑が行われた。 <p>2) 農林水産省平成 25 年度食品産業グローバル革新支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農水省から正式な決定通知があった (9 月 2 日付)。 ・ 調査対象国を追加 (台湾、カンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス) し、調査項目として栄養表示及び機能性表示を新たに追加。更にこれまでの調査資料のアップデートを行う。 ・ 中国、韓国、東南アジア、インド、台湾の各支部に調査依頼。12 月末を目途に情報収集する。 <p>次回会議は 11/21 (木) 15-17 時に開催の予定。</p>
11, 12 月	<p>平成 25 年第 9 回委員会開催 (11/21)</p> <p>1) 農林水産省平成 25 年度食品産業グローバル革新支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集進捗見通し (ILSI 該当支部には依頼済み) ・ 国際会議：来年 3 月 4, 5 日ヤンゴン (ミャンマー) で開催予定 ・ 1 日目：(公開) ミャンマーの行政機関 (主として FDA) 及び研究者を対象とした教育的セミナー ・ 2 日目：(非公開) 農水省、厚労省、ILSI、ミャンマーFDA ・ 出来るだけ当委員会のメンバーから多く参加するようにしたい <p>2) 農水省プロジェクト来年度以降の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の公募・応募形式ではなく、委託形式になる模様 ・ 国 (欧、米、ブラジル、ロシア、UAE 等)、品目 (調味料、菓子、レトルト食品等) を広げ、データベース化する意向 <p>3) コーデックス栄養・特殊用途食品部会会議報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランス脂肪酸フリー強調表示：実質討議が始まるのは 2015 年からか? ・ 栄養参照量 (NRV)、非感染性疾患に関わるカリウムの潜在的 NRV、フォローアップミルク、育種選抜により栄養強化された農作物由来食品の表示等 <p>今回は 1/10 (金) 15-17 時に開催の予定 (事務局会議室)</p>

【情報委員会】

<p>1, 2 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (1, 2 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 ・ 会員専用ページ運用開始 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 巻 4 号 (通巻 81 号) の編集委員会開催 (2 月) ・ 21 巻 3 号 (通巻 80 号) の編集作業中
<p>3, 4 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (3, 4 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 巻 3 号 (通巻 80 号) の編集終了 (5 月 10 日発刊予定) ・ 21 巻 4 号 (通巻 81 号) の翻訳・監修作業進行中 4. 「最新栄養学」(Present Knowledge in Nutrition 日本語版) 第 10 版 <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集準備開始
<p>5, 6 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (5, 6 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 巻 3 号 (通巻 80 号) : 5/10 発刊 ・ 21 巻 4 号 (通巻 81 号) : 編集作業進行中 (8/10 発刊予定) ・ 22 巻 1 号 (通巻 82 号) : 編集委員会開催 (4/28)
<p>7, 8 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (7, 8 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 巻 4 号 (通巻 81 号) : 8/10 発刊 ・ 22 巻 1 号 (通巻 82 号) : 編集作業進行中 (2/10 発刊予定) ・ 22 巻 2 号 (通巻 83 号) : 編集委員会開催 (9/2)
<p>9, 10 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (9, 10 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 1 号 (通巻 82 号) : 11/10 発刊予定 ・ 22 巻 2 号 (通巻 83 号) : 編集作業進行中 (2/10 発刊予定) ・ 22 巻 3 号 (通巻 84 号) : 編集委員会開催予定 (11/20)
<p>11, 12 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (11, 12 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 1 号 (通巻 82 号) : 11/10 発刊 ・ 22 巻 2 号 (通巻 83 号) : 編集作業進行中 (2/10 発刊予定) ・ 22 巻 3 号 (通巻 84 号) : 翻訳進行中 (5/10 発刊予定)

***編集部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 112 号の発刊・「イルシー」誌 113 号の原稿査読・編集中
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 113 号の編集中
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 113 号の発刊・「イルシー」誌 114 号の原稿査読・編集中
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 114 号発行・「イルシー」誌 115 号の原稿査読・編集
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 115 号の編集
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 115 号発行・「イルシー」誌 116 号の原稿査読・編集

事務局

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>平成 25 年度通常総会が 2 月 19 日 (火) 10:00 より 東京都中央区八重洲 2-2-1 ダイヤ八重洲口ビル 3 階で開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>第 1 号議案 平成 24 年度事業活動報告書案承認の件 山口隆司事務局長が議案 1 資料「平成 24 年度事業活動報告書案」に基づき事業報告を行い、採決に入り、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度決算報告書案承認の件 内田博事務局次長から議案 2 資料「平成 24 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき、決算報告があり、伊藤建比古監事が監査報告を行い、採決を行った結果、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 25 年度事業活動計画書案承認の件 山口事務局長より議案 3 資料「平成 25 年度事業活動計画書案」に基づき事業計画の内容が説明され、採決に入り、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 25 年度収支予算書案承認の件 内田事務局次長が議案 4 資料「平成 25 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支予算書案」に基づいて予算案の内容を説明し、採決を行った結果、満場一致をもって本案は可決承認された。</p> <p>○報告事項 山口事務局長より下記事項について報告が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ILSI 本部総会報告 2. 最新栄養学
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【事務局】

1, 2 月	
3, 4 月	<p>○平成 25 年 3 月監督官庁である東京都知事（生活文化局都民生活部管理法人課）に平成 24 年度、第 12 期事業報告書等（下記）を提出しました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業報告書 2. 収支報告書 3. 貸借対照表 4. 財産目録 等 <p>○事務局次長 石原 隆氏は 4 月 30 日付をもって退職されました。 長期間に亘り ILSI Japan 事務局を支えて頂き深く感謝いたします。</p>
5, 6 月	<p>平成 25 年 6 月 1 日付にて平川 忠氏が事務局次長として就任されました。 平川氏は味の素株式会社で主として基礎研究、医薬関連、品質保証分野を担当し、その後バイオインダストリー協会、日本食品添加物協会等を経験され豊富な経験・知識</p>

	により ILSI Japan の発展に貢献されることが期待されています。
7, 8 月	平成 25 年 9 月 1 日付にて倉井 真氏が事務局次長として就任されました。 倉井氏はサントリーホールディングス株式会社で主として酒類営業部門、健康食品セサミンの事業化、研究企画部門等を担当し、豊富な経験・知識により ILSI Japan の発展に貢献されることが期待されています。
9, 10 月	特になし
11, 12 月	

【理事会】

1, 2 月	<p>平成 25 年度第 1 回理事会が 2 月 6 日（水）に開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>第 1 号議案 平成 24 年度事業報告書承認の件 山口事務局長から第 1 号議案資料「平成 24 年度事業活動報告書（案）」に基づき事業活動報告を行い、質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度決算報告書承認の件 内田事務局次長から第 2 号議案資料「平成 24 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき決算報告書の説明を行った。</p> <p>引続き辻監事より監事 2 名を代表して事業活動報告書・財務諸表に関して監査の結果、誤りがなく正確に処理され適正妥当と認めるとの監事監査報告が行われた。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 3 号議案 平成 25 年度事業活動計画書承認の件 山口事務局長から議案第 3 号資料「平成 25 年度事業活動計画書（案）」に基づき、事業活動計画書の内容を説明した。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 4 号議案 平成 25 年度収支予算書承認の件 内田事務局次長から第 4 号議案資料「平成 25 年度収支予算書案」に基づいて収支予算書の内容を説明した。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>○報告事項 山口事務局長よりそれぞれの事項が資料に基づき報告された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本部総会の報告 2. 「研究部会活性化に向けた討論会」開催について 3. 「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究の国際会議」開催の報告
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	<p>平成 25 年度第 2 回理事会が平成 25 年 7 月 31 日（水）午前 10:00-11:30 ILSI Japan 会議室で行われました。</p> <p>1. 審議事項及び審議の経過の概要</p> <p>■議案 1. 理事選任について 山口事務局長より、徳留信寛理事の辞任に伴い新たに古野純典氏（独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長）を理事に選任したいとの提案があり、審議の結果、異議なく承認された。</p> <p>■議案 2. 科学諮問委員会（SAC）設置について 山口事務局長より科学諮問委員会（SAC）設置につき提案し、審議の結果、異議なく承認された。</p> <p>概要は以下の通り</p> <p>◎科学諮問委員会（SAC）の役割 SAC に期待するミッション</p>

	<p>新たな潮流の把握</p> <p>1) これからの科学問題に焦点を当て、ILSI として取り扱うべきテーマを選択する。</p> <p>2) SAC が年に一度、国際的な視点も入れ、長期テーマ案を作成し、理事会に諮問する。</p> <p>概略イメージ</p> <p>頻度：年 2 回開催</p> <p>メンバー構成：</p> <p>(アカデミア) 現役に近い。次期理事候補も視野。</p> <p>地域性も考慮</p> <p>(インダストリー) 研究戦略、研究企画部門の部長クラス／理事会社の協力但し、事務局 WG が 企業メンバーのニーズ、科学の流れを考慮し、広範囲の候補研究テーマをピックアップし、ポイントを整理した後、SAC に提案する。</p> <p>現存研究部会テーマとの重複・兼ね合いについては、事務局 WG で判断する。研究部会長を中心としたメンバー構成。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) ILSI 本部活動紹介／ILSI 本部会長</p> <p>山口事務局長より、ILSI 本部 Jerry Hjelle 会長から ILSI 本部活動につき、戦略的目標・主要 4 領域・戦略計画移行チーム等について紹介あった旨、報告があった。</p> <p>2) 「最新栄養学」第 10 版出版について</p> <p>山口事務局長より、別紙資料に基づき「最新栄養学」第 10 版の翻訳者が決定し、順調に出版に向けて進んでいるとの報告があった。</p> <p>3) 東京大学-ILSI Japan 寄附講座第Ⅲ期について</p> <p>山口事務局長より、第Ⅲ期東京大学-ILSI Japan 寄附講座「機能性食品ゲノミクス」を開設し参加者募集するとの紹介があった。</p> <p>第Ⅲ期においては、第Ⅰ、Ⅱ期からの飛躍を目指し、新しいゲノミクス・エピジェネティクスの研究を推進する。同時に、これからの高齢化社会に起因する生活習慣病にも目を向けるとともに、人々の生活の質 (QOL) の向上に貢献すべく、健全 (wholesome) な食品の科学・技術を樹立する研究機関として活動を継続して行く予定。具体的な研究相談については東京大学 阿部、中井両先生が個別に対応する用意がある。</p> <p>4) ILSI 台湾設立総会</p> <p>西山理事長より ILSI 台湾の設立総会が 7 月 28 日にあり、招待され参加したとの報告があった。来賓として招待されたのは ILSI Japan と ILSI SEAR、総会の参加者は台湾の副総理・厚労省大臣 (日本で相当する省) ・副大臣等大物が多数参加していた。</p> <p>会長は台湾大学終身特別名誉教授、孫 璐 西 (Lusy Sun Hwang) 氏で、参加企業は 24 社、会費は 5,000 \$ と設定されている。</p> <p>当日、ILSI Japan が日本での活動として、『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』を作成している等の、活動報告を行った。</p> <p>5) その他</p> <p>山口事務局長より、「『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』(Ⅳ) が完成し、農林水産省に提出した。当機構ホームページにも掲載しているので活用して下さい」との報告があった。同時に、本年度も申請しており、台湾も含めた新規 5 か国についての調査を継続する予定となっている。</p>
9, 10 月	
11, 12 月	<p>平成 25 年度第 3 回理事会が平成 25 年 12 月 25 日 (水) 午後 5 時より ILSI Japan 会議室にて開催された。</p> <p>1. 審議事項</p> <p>「第 7 回栄養とエイジング国際会議」の開催について</p> <p>山口事務局長が提案した。</p> <p>審議の結果「第 7 回栄養とエイジング国際会議」は秋に開催するという方向で検討し次回理事会で再度審議する。</p> <p>2. 討議事項</p> <p>山口事務局長が 2014 年度活動方針 (昨年度の継続) について説明し 討議した。概要は</p>

<p>以下の通り。</p> <p>(1) 活動戦略を策定・・基軸に基づき研究部会活動、国際会議を計画し活動を推進している。</p> <p>(2) 科学諮問委員会・・栄養とエイジング国際会議のプログラム委員会メンバーとして実務を開始している。</p> <p>(3) 国立研究所との連携・・国立研究所とセミナーの共催、情報交換の場を設定している。</p> <p>(4) 他支部との連携・・東アジアプロジェクト、BeSeTo 会議等を通じて順調に推進している。</p> <p>(5) 情報発信・・担当者の加入、発信活動の充実に向けた提案を行い情報発信の充実を図っている。次の機会に具体案を担当者から提案させる。</p> <p>3. 報告事項</p> <p>山口事務局長より以下の案件を説明した。</p> <p>○2014 年 ILSI Japan 支部総会の議事事項（案）</p> <p>平成 25 年度事業活動報告書(案)、平成 26 年度事業活動計画書(案)を検討して次回理事会に意見を伺いたい。</p> <p>○第 8 回 ILSI Japan ライフサイエンスシンポジウム プログラム（案）について説明した。</p> <p>日時: 2014 年 2 月 20 日 13:00～17:45</p> <p>場所: アーバンネット神田カンファレンス（定員：96 名）</p> <p>○ILSI 本部総会について</p> <p>ILSI 本部総会が 2014 年 1 月 17～22 日バミューダで開催される。</p> <p>○東京大学 ILSI Japan 寄付講座「機能性食品ゲノミクス」第Ⅲ期については 22 社の参加を得て継続することになった。</p>
